

病院における労働環境の実態把握及び円滑な業務運営につなげる 安全衛生対策研究

【研究概要】

医療・福祉業に従事する労働者は 830 万人(2020 年推計)を越え、そこで働く労働者の安全と健康の確保は重要な課題であり、働き方改革でも関心事項としてその取り組みが多面に進められている。その一方で、医療・福祉業の過労死等（過重労働等による脳・心臓疾患や業務上の心理的負荷による精神障害・自殺）の 2 割強を占める病院事務局職員の健康と安全の実態やその確保策についてはこれまで十分取り上げられておらず、防止策の検討が急がれる。また、2020 年からの COVID-19 のパンデミックにより病院職員には一層の負担がかかっている。COVID-19 対応に関連した医療従事者の精神障害の問題も指摘されており、日本だけでなく世界中でその対策が急がれる。

本研究では、病院における労働安全衛生対策と円滑な病院運営の両立に資することを目的として、以下の 2 つのサブテーマを設け研究を行う。

サブテーマ 1：病院事務局職員の過重労働防止対策

「病院事務局職員」に着目し、労働環境の実態把握と改善策の提案研究を行う等により、過重労働防止と共に円滑な業務運営につなげる知見を得る。

サブテーマ 2：病院職員の新型コロナウイルス感染症対応の精神的影響

コロナ禍で一層の負担がかかっている病院職員の精神的影響の把握と、それを踏まえた対策を検討することで、この切迫した社会情勢下であっても業務運営を継続させる方策を模索する。

病院における労働環境の実態把握及び 円滑な業務運営につなげる安全衛生対策研究(工程表)



○サブテーマ1

(事務局職員の過重労働)

1 労働環境の実態把握

○サブテーマ2

(COVID-19関連のメンタルヘルス)

2 対策支援研究

3 COVID-19と健康

JNIOOSH過労死等
研究成果の提供

